

## 目次



- [保護設定機能でできること](#)
- [操作手順](#)
  - [1.保護設定](#)

## 保護設定機能でできること

文書回覧申請時の「保護設定」の初期値を設定します。

## 操作手順

### 1 保護設定

1.メニューバーより [ 全体設定 ] - [ 環境設定 ] をクリックします。



2.[保護設定] タブをクリックし、設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れ [更新] ボタンをクリックします。



#### 【表示項目】

以下で指定した設定内容を、申請者が申請時に変更することを許可する許可にする場合、申請者が必要に応じて「回覧先設定画面」の保護設定を選択できます。チェックを外した場合、「回覧先設定画面」の保護設定は選択された状態でロックされます。申請者は保護設定を変更できません。

回覧途中の宛先、回覧順の変更  
許可する場合、「回覧先設定画面」の保護設定「宛先、回覧順の変更」が選択されている状態で表示されます。

回覧途中でのテキスト追加  
許可する場合、「回覧先設定画面」の保護設定「テキスト追加を許可する」が選択されている状態で表示されま  
す。  
「制限設定」でテキスト追加を許可していない場合、表示されません。

回覧時の捺印  
必須にする場合、承認者による回覧文書への1回以上の捺印が必須となります。  
申請時にアクセスコードで文書を保護  
保護する場合、「回覧先設定画面」の保護設定「アクセスコードで保護」が選択されている状態で表示されます。  
アクセスコードの内容は、申請者が変更できます。

## 保護設定

宛先、回覧順の変更を許可する

テキスト追加を許可する

アクセスコードで保護する（社内用）

y1iakn



アクセスコードで保護する（社外用）

bb69nx



## 再通知設定